



©SUNRISE/BANDAI DENTSU, TV TOKYO ©BANDAI 2012, 2013



# アイカツプラネットカメラ

とりあつかい せつめい しょ  
取扱説明書



# 安全に関するご注意

## 保護者の方へ 必ずお読みください

本製品を安全に正しくご使用していただくため、下記には重要な内容が記載されています。よくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。



### 危険

この表示の項目は、「死亡または重傷を負う危険発生の可能性が高い」内容です。



### 警告

この表示の項目は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



### 注意

この表示の項目は、「人が損害を負う可能性、または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。



### 危険

電池を火中や水中に投入したり、加熱しないでください。

電池の液漏れ・発熱・発火・破裂により、大けがや火災の原因になります。

パソコンに接続する際にUSBケーブルを使用する時は、ケーブルを首にかけてふざけたり遊んだりしないでください。

特に小さなお子様のまわりにケーブルを放置したりしないでください。窒息事故の危険があります。

ご自身で修理、分解、改造をしないでください。

故障の原因になる上に、感電の危険があります。また、本製品には小さな精密部品が内蔵されており、特に小さなお子様などのまわりでは誤飲の危険があります。絶対にしないでください。



### 警告

#### 電池(別売り)に関する警告

以下は電池の液漏れ・発熱・発火・破裂の原因となり、大けがや火災の原因になります。

電池から漏れた液が皮膚や服についた時は、すぐに水で洗浄してください。万一、液が目に入ってしまった場合には、すぐに大量の水で洗浄し、直ちに医師に相談してください。

本製品には、必ず単4形アルカリ乾電池を使用してください。

マンガン電池やその他の電池は絶対に使用しないでください。

ストロボは目に向けて近づけて発光するととても危険です。視力障害の原因になりますので、光を直接見たり、人や動物の目に直接向けることは、絶対にしないでください。



電池の＋（プラス極・マイナス極）方向を逆にして製品にセットしないでください。

電池を乱暴に扱ったり、強い衝撃を与えないでください。

電池を交換する時は、3本すべてを同じ種類、銘柄の新しい電池に交換してください。また、古い電池と新しい電池を混ぜて使用しないでください。

液漏れ、変形、変色など、電池に異常があった場合は、直ちに使用を中止してください。

使用できなくなった電池を製品にセットしたまま放置しないでください。

電池を小さいお子様の手の届く場所に放置しないでください。

誤飲による窒息や中毒の恐れがあります。

万一、製品が異常に熱くなる、異臭や煙りが出た場合や、機器の内部に異物や水などが入ってしまった場合は、直ちに使用を中止して、製品から電池を取り外してください。

使用を中止しないと、火災や感電の原因となります。やけどに十分に注意しながら電池を取り外してください。その後弊社相談センターまでお問い合わせください。

電池を取り外す際には、必ず製品の電源をオフにしてください。

感電や、やけどの恐れがあります。

長時間カメラを使用した直後に電池を取り出さないでください。

電池が熱くなっているため、やけどの原因になる恐れがあります。

本製品をお手入れする場合には、電源をオフにして、電池を取り外してから行ってください。

感電や、電池に異常が起こった場合、やけどの恐れがあります。

### その他取り扱いに関する警告

歩行中、乗り物の運転中などに本製品を使用しないでください。

転倒や交通事故の原因となります。

長時間使用すると製品が熱くなる場合がありますのでご注意ください。

その状態の製品と身体の一部が長時間触れたままになっていると、低温やけどになる恐れがあります。

レンズを強い光源や太陽に向けしないでください。

集光により、カメラ内部が破損・故障したり、ショートなどによる発熱で火災の原因となります。

本製品に水を掛けたり、濡らしたり、多湿・ほこりの多い場所での使用・保管は避けてください。

内部に水やほこりが入ると、感電や故障、火災の原因になります。

金属類・燃えやすいものなど異物を内部に入れしないでください。

火災・感電の原因となります。



## ⚠ 注意

撮影を始める前に『試し撮り』をしてください。

正常に撮影されることを確認してください。

製品を落としたり、叩いたり、乱暴な扱いをしないでください。

故障や破損の原因になります。

液晶モニタに衝撃を与えないでください。

破損したり、ガラスが割れたり、内部の液が出てくる場合があります。ご注意ください。

直射日光の当たる場所、いちじるしく高温・低温になる場所での製品の使用・保管は避けてください。

製品が劣化し、故障の原因になります。

製品の可動部、取り付け部を無理な方向に引っ張ったり、折り曲げたりしないでください。

故障や破損の原因になります。

レンズカバーを強く押したり、ぶついたりしないでください。

けがをしたり、カメラの故障の原因になることがあります。

製品をお手入れする場合には、乾いた柔らかい布で汚れを拭き取ってください。アルコールやベンジンなど、化学薬品は使用しないでください。

製品が変質・変色してしまう恐れがあります。

ストラップを使用して本製品を持ち運びする場合は、他のものに引っ掛けたり、ぶついたりしないようにご注意ください。

けがや事故の原因となります。

電池の電極部や、製品の金属端子部はいつも清潔な状態で使用してください。

汚れがあると接触が悪くなる場合があります。乾いた布でよく拭いてからご使用ください。

ご使用になっている電池の種類、タイプ、銘柄によって、また同じ電池でも推奨使用期限・使用環境の温度によっても、電池寿命に差が生じます。

本製品仕様の電池寿命に満たない場合がありますのであらかじめご了承ください。

## その他 ご注意

- 本製品およびパソコンの不具合により、データが破損、または消去された場合のデータ内容の補償に対し、当社では一切の責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品でのご使用により生じたその他の機器やソフトの損害に対し、当社では一切の責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品でのご使用、または使用不能から生じる付随的な損害(事業の利益損失、中断など含む)に対し、当社では一切の責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本書記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。

### ※著作権についてのご注意※

本製品で記録したものを私的な目的以外で著作権者、およびほかの権利者の承諾を得ずに複製・配布・配信することは、著作権法および国際条約の規定により禁止されています。なお、実演、興業、展示物などで、個人として楽しむなどの目的であっても記録を制限している場合がありますので、ご注意ください。

# もくじ

安全 <small>あんぜん</small> に関するご注意 <small>かんちゅうい</small> .....	1
もくじ .....	4
セット内容 <small>ないよう</small> .....	7
各部 <small>かくぶ</small> のなまえ.....	8
撮影 <small>さつえい</small> のまえに.....	9
電池 <small>でんち</small> の挿入 <small>そうにゅう</small> .....	9
電源 <small>でんげん</small> のオン/オフ.....	10
オートオフ.....	10
初期設定 <small>しよきせつてい</small> メモリ・SDメモリーカード <small>エスディー</small> .....	10
SDメモリーカード <small>エスディー</small> を使う <small>つか</small> ときの注意 <small>ちゅうい</small> .....	11
SDメモリーカード <small>エスディー</small> をセットする .....	12
ボタンの操作 <small>そつさほうほう</small> 方法.....	13
モードの切り替え <small>きりかえ</small> .....	14
静止画 <small>せいしが</small> モード.....	15
静止画 <small>せいしが</small> モードのアイコン .....	15
静止画 <small>せいしが</small> の撮影 <small>さつえい</small> .....	16
セルフタイマー.....	16
ストロボ.....	17
フォトフレーム .....	17
静止画 <small>せいしが</small> のメニュー.....	19



<b>動画モード</b> .....	20
動画モードのアイコン.....	20
動画の撮影 .....	21
動画のメニュー.....	22
<b>静止画と動画共通の機能</b> .....	23
ズーム撮影 .....	23
<b>再生モード</b> .....	24
再生モードのアイコン.....	24
静止画・動画の再生.....	25
静止画データの再生.....	25
動画データの再生.....	26
サムネイル表示.....	27
再生モードのメニュー.....	27
画像保護 .....	28
スライドショー(静止画のみ).....	28
エフェクト(静止画のみ).....	28
回転(静止画のみ).....	29
画像の消去 .....	29

<b>本体設定</b> <small>ほんたい せつてい</small>	30
<b>操作音</b> <small>そうさ おん</small>	30
<b>電源周波数</b> <small>でんげんしゅうはすう</small>	31
<b>オートオフ</b>	31
<b>フォーマット</b>	31
<b>全てリセット</b> <small>すべ</small>	31
<b>保存先</b> <small>ほぞん せん</small>	31
<b>パソコンとの接続</b> <small>せつぞく</small>	32
<b>パソコンに保存した画像を見る</b> <small>ほぞん がぞう み</small>	33
<b>動画を再生する</b> <small>どうが さいせい</small>	33
<b>困ったときは</b> <small>こま</small>	34
<b>カメラのトラブル</b>	34
<b>製品の仕様</b> <small>せいひん しよう</small>	36
<b>撮影可能枚数／時間の目安／電池寿命</b> <small>さつえい かのうまいすう じかん めやす でんちじゅみょう</small>	37
<b>使用上の注意</b> <small>しようじょう ちゅうい</small>	37
<b>警告・注意</b> <small>けいこく ちゅうい</small>	38



# セット内容



カメラをつかいはじめる前にたしかめてください。

①本体 ②USBケーブル ③ストラップ

④アイカツ！カード(4枚)※アイカツデジカメとの連動性はありません。

⑤取扱説明書(保証書付)(本書)

※画像と商品とは多少異なる場合があります。



あそびでめよう!

DAILY AKB48



CSUNISE/BANDAI DENTSU TV TOKYO ©BANDAI 2012.2013

▼アイカツの詳しい情報は公式サイトをチェック!▼

<http://www.aikatsu.com> アイカツ検索

(カードゲームのルールに関するお問い合わせ)  
カードダス ルールナビ

☎ 03-3847-0955

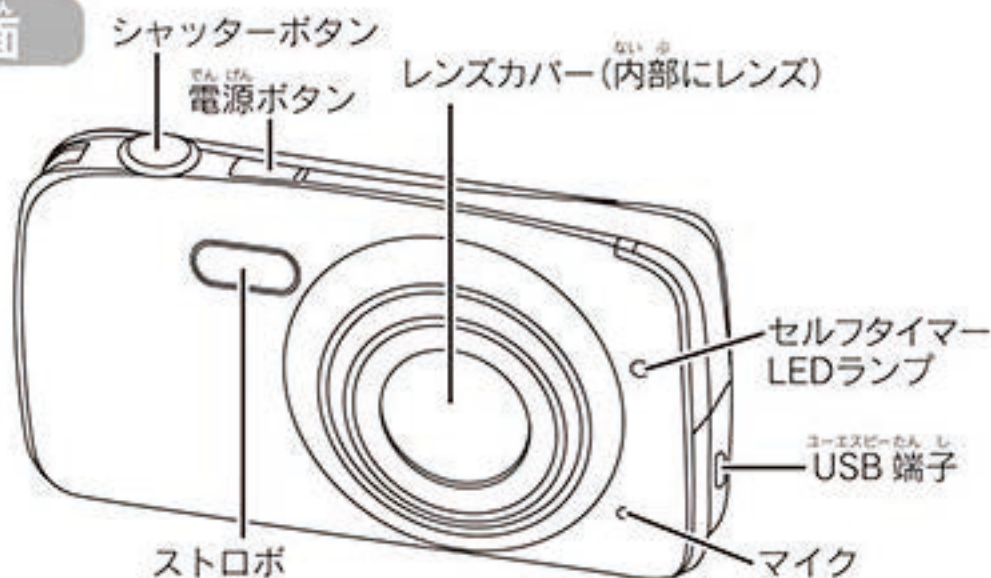
●受付時間 10時~17時

(土、日、祝日、夏季・冬季休業日を除く)

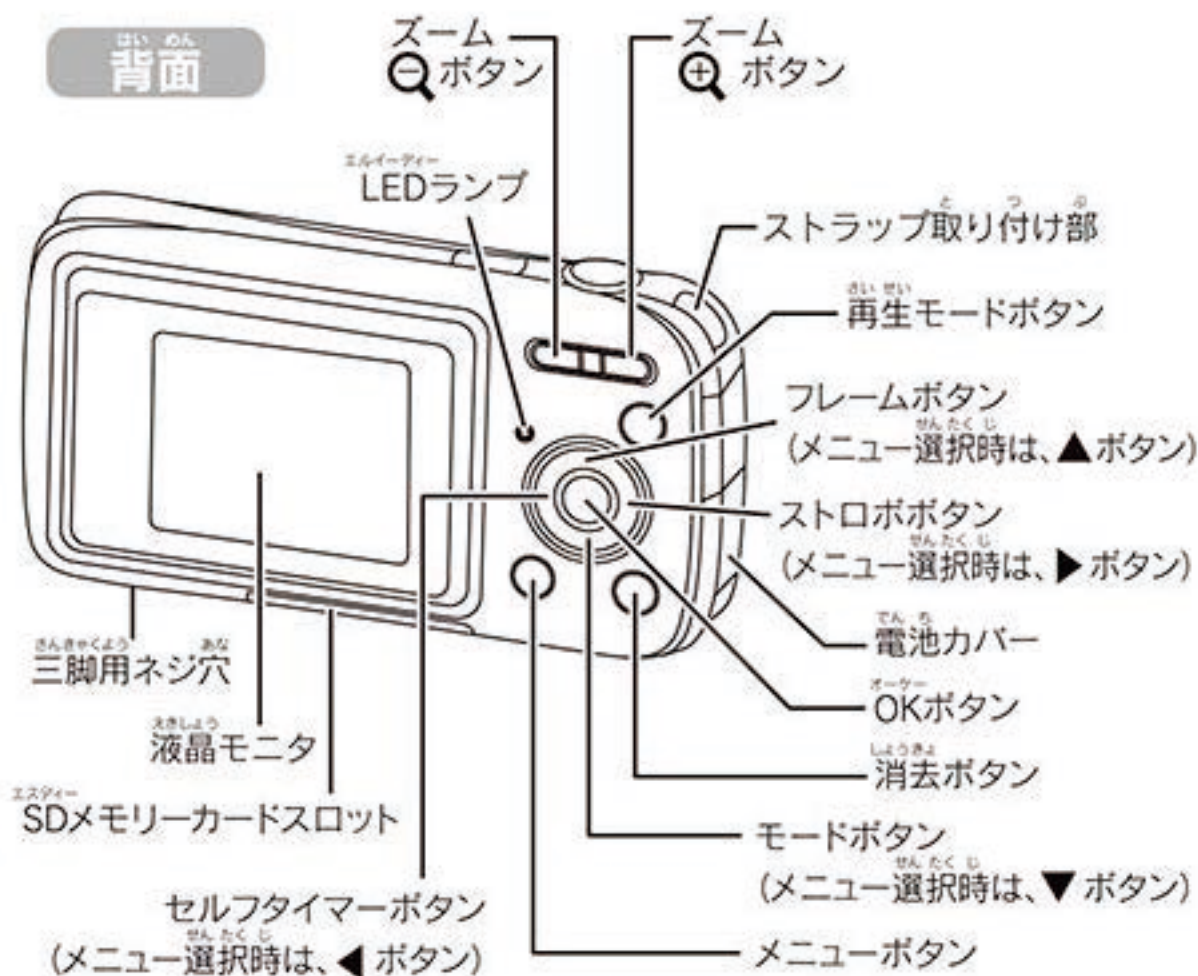


# かくぶ 各部のなまえ

## しょうめん 正面



## はいめん 背面



# さつ えい 撮影のまえに

## てん ち ぞう こん 電池の挿入

電池のセットや取りかえは、保護者の方が行なってください。

### 保護者の方へ

このカメラでは、単4形アルカリ乾電池(別売り)3本を使ってください。  
電池カバーを開閉する際は、ネジにあったプラス(+)  
ドライバーをご使用  
ください。

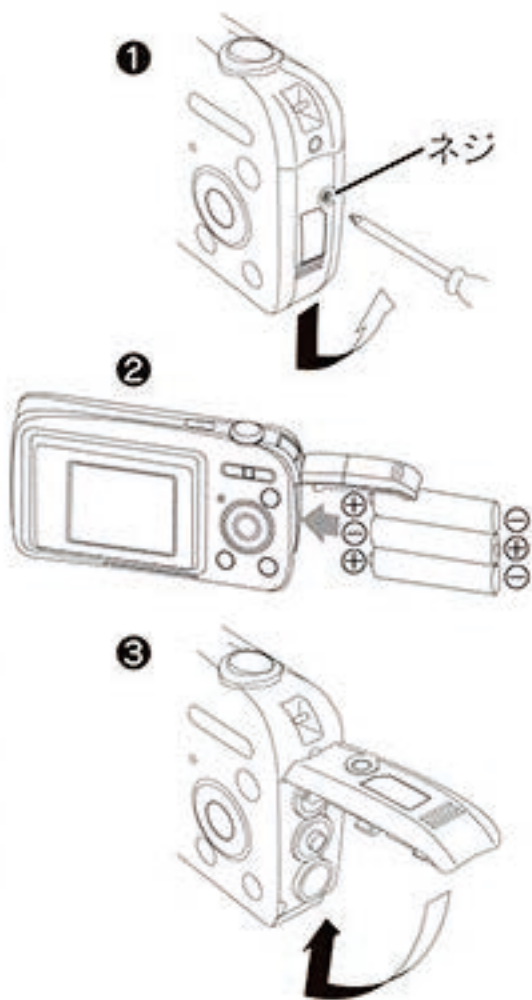
- ①電池カバーのネジをゆるめ、カバーを矢印の方向にスライドさせ、カバーを開けます。

※電池カバーのヒンジ部分に指を挟まないように注意してください。

- ②新しい単4形アルカリ乾電池3本を、正しい方向でセットしてください。

- ③電池カバーを矢印の方向に差し込み、しっかり合わせて閉めた後、ネジを締め直してください。電池カバーがスライドしないことを確認してください。

※P1~3の電池に関する「安全に関するご注意」をよくお読みください。  
※電池カバーを無理に開けたり閉めたりすると、故障の原因になる場合があります。





## 電源のオン/オフ

〈電源〉ボタンを押すと電源のオン/オフができます。

液晶モニタの左下に電池の残りのだいたいの目安が表示されます。

のこり	多い	やや多い	少ない	ない

残りが「少ない」になったら早めに新しい電池と交換してください。「少ない」になると撮影はできますが、ストロボが使えなくなります。



電池残量が少ないときにストロボボタンを押すと、電源が切れる場合があります。

## オートオフ

電源の消し忘れ防止の設定です。1分間、もしくは3分間なにも操作しないしていると、自動的に電源がオフになるように設定できます。

詳しくはP.31「オートオフ」をご覧ください。

出荷時は1分間に設定されています。

## 初期設定 メモリ・SDメモリーカード

このカメラには32MB(約110枚~260枚分)のメモリが内蔵されています。

32MB以上の写真を撮影するには、SDメモリーカード(別売り)が必要です。

SDメモリーカードは2GBまで、SDHCメモリーカードは32GBまでのカードが使えます。

※撮影可能枚数/時間の目安はP.37を参照してください。



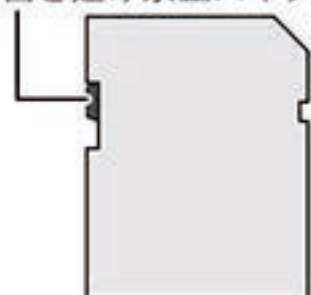
SDメモリーカードの出し入れは、必ずカメラの電源をオフにしてから行ってください。電源オンのまま行くと、データおよびカメラが壊れる場合があります。

## SDメモリーカードを使うときの注意

### ●ロック機能

SDメモリーカードには書き込み禁止スイッチが  
ついています。書き込み禁止スイッチがロックさ  
れていると撮影やファイル消去ができません。撮  
影や消去をするときはロックされていないこと  
を確かめてください。

書き込み禁止スイッチ



【ロックされていない状態】

### ●カードのフォーマット(初期化)はカメラで

このカメラで使うSDメモリーカードは、必ずこのカメラでフォーマット  
(初期化)してください。(P.31「フォーマット」参照)

### ●ファイルやディレクトリの名前を変えない

SDメモリーカードをパソコンで読み込んだときに、ファイルやディレクト  
リの名前をパソコンで変えないでください。カメラでそのSDメモリー  
カードが使えなくなることがあります。

### ●その他の注意

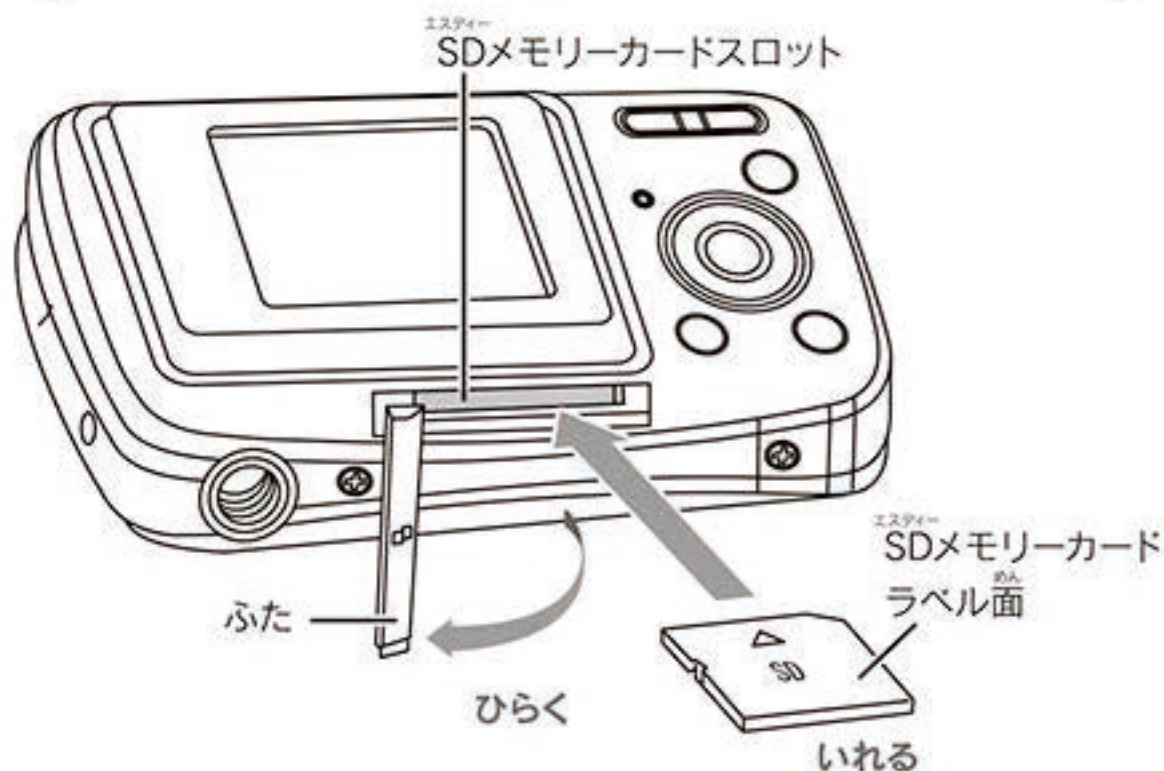
- SDメモリーカードを乱暴に扱わないでください。
- SDメモリーカードが静電気を帯びているとカメラが動かない場合  
があります。
- SDメモリーカードがおかしいときは本体設定(P.31「フォーマット」)  
で正常になる場合があります。フォーマットすると記録されたファイル  
はなくなりますので、注意してフォーマットを行ってください。
- 汚れたときは乾いたやわらかい布で拭いてください。

### 保護者の方へ

SDメモリーカードを使っているときに誤った動作や故障により記録され  
たデータが失われる場合があります。当社では一切の責任を負えませんの  
で、予めご了承ください。




## ESPEY SDメモリーカードをセットする



- ①カメラの電源がオフになっていることを確かめてください。
- ②SDメモリーカードスロットのふたを図のように開きます。
- ③SDメモリーカードの方向に気をつけて、カチッと音がするまでカードをカメラに入れます。
- ④ふたを元に戻し、しっかりと閉めてください。

※カメラから抜き取るには、カードを指で押してください。  
カードが手前に飛び出て指で引き抜くことができます。

ESPEY SDメモリーカードを差し込んで〈電源〉ボタンを押すと、液晶モニタにカードのアイコンが表示されます。



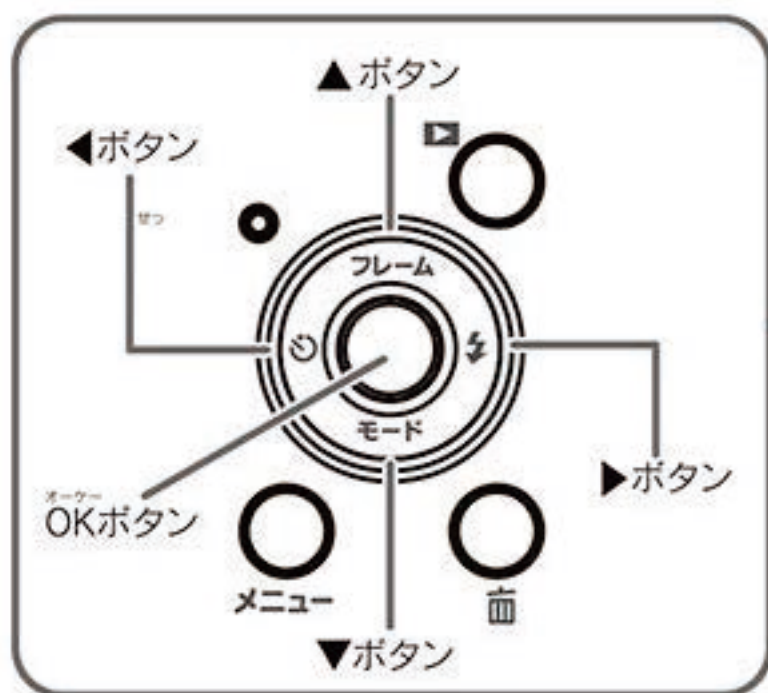
このカメラで使うSDメモリーカードは、必ずこのカメラでフォーマット(初期化)してください。(P.31「フォーマット」参照)

## ボタンの操作方法

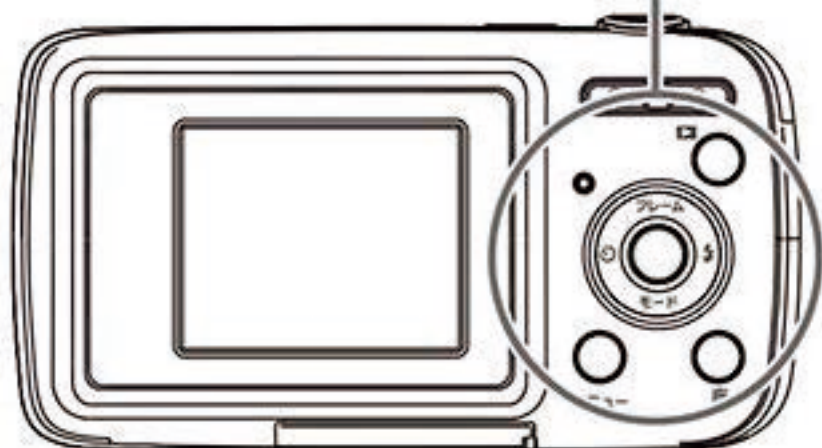
メニュー選択時は、〈フレーム〉ボタン、〈モード〉ボタン、〈セルフタイマー〉ボタン、〈ストロボ〉ボタンをそれぞれ、〈▲〉ボタン、〈▼〉ボタン、〈◀〉ボタン、〈▶〉ボタンとして使用します。

4方向の▲▼◀▶で、それぞれの方向へ選ぶ項目を動かさせます。

〈OK〉ボタンを押すと、メニューや設定の決定ができます。






背面





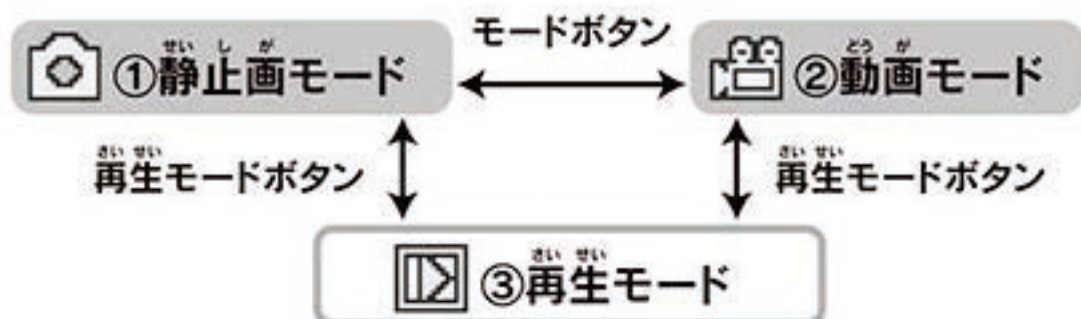
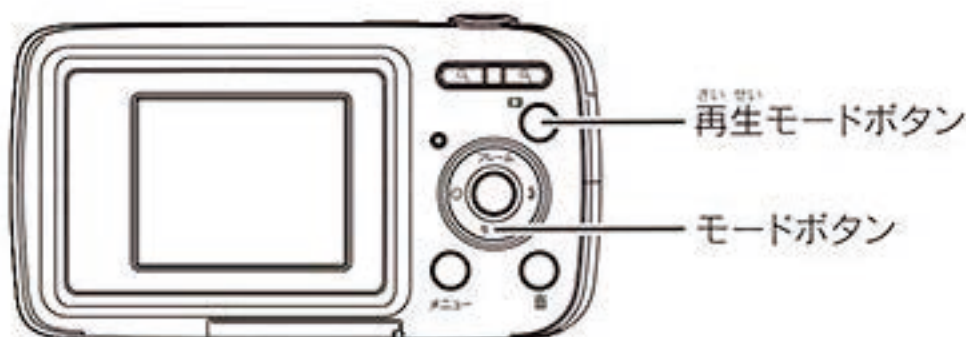
## モードの切り替え

このカメラには、3つのモードがあります。用途に応じて、モードを切り替えてください。液晶モニタの左上のアイコンで、今どのモードになっているかわかります。

- ①  **静止画モード**: 静止画を撮影するモードです。
- ②  **動画モード**: 動画を撮影するモードです。
- ③  **再生モード**: 撮影した静止画や動画を液晶モニタに表示します。

〈モード〉ボタンを押すと①と②が切り替わります。


〈再生モード〉ボタンを押すと③と①(または②)が切り替わります。



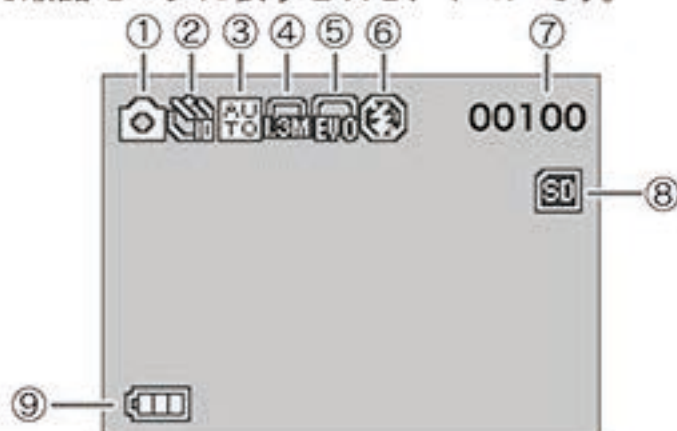
# 静止画モード





## 静止画モードのアイコン

カメラの<電源>ボタンを押した際、静止画モードとなっています。

(液晶モニタの左上に  のアイコンが表示されます)

静止画モードで液晶モニタに表示されるアイコンです。



- ① モード表示  静止画モード
- ② セルフタイマー 連続撮影  10秒タイマー  連続撮影  
※タイマー・連続撮影機能をつかわないときは表示されません。
- ③ ホワイトバランス  自動  晴れ  曇り  白熱灯  蛍光灯
- ④ 解像度  1.3M(1280×960ピクセル)  VGA(640×480ピクセル)
- ⑤ 明るさ調整  EV-2  EV-1  EVO  EV1  EV2
- ⑥ ストロボ  禁止  強制  自動
- ⑦ 撮影可能枚数  撮影可能な枚数のめやす(表示は最大99999です。)
- ⑧ メモリーカード  SD 撮影可能  カードロック(撮影できません)  
※SDメモリーカードが入っていないとき、または、保存先で内蔵メモリーを選んでいているとき(P.31「保存先」参照)は表示されません。
- ⑨ 電池残量 P.10「電源のオン/オフ」を参照してください。

※カードロックについては、P.11「ロック機能」を参照してください。



## 静止画の撮影

①カメラの〈電源〉ボタンを押します。(静止画モードとなっています)

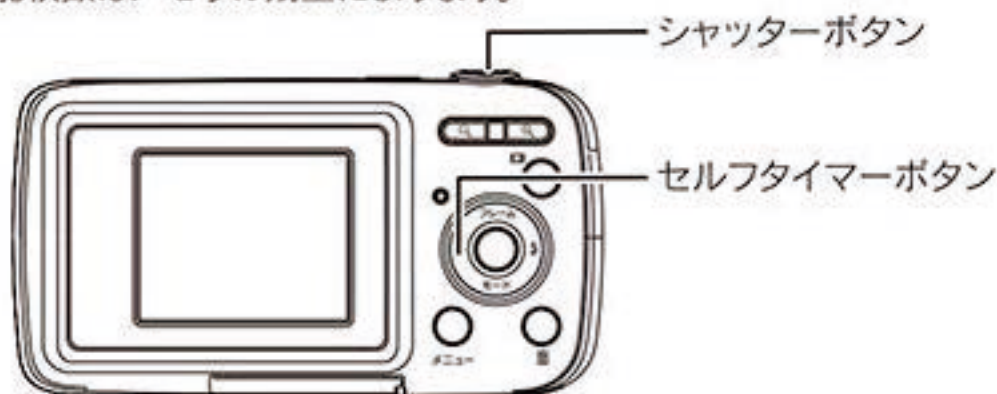
②液晶モニターで撮影するもの(被写体)を確かめます。

③〈シャッター〉ボタンを押して撮影してください。

○撮影するときは、ぶれないようにカメラをしっかり持ってください。

○撮影した後、しばらく経つと画面の表示が戻り、次の撮影ができます。


○撮影可能枚数はメモリの残量によります。




## セルフタイマー

〈セルフタイマー〉ボタンを押すと、セルフタイマーや連続撮影の設定ができます。

〈セルフタイマー〉ボタンを押すたびに、液晶モニターのアイコンが変更されます。

 シャッターが押された10秒後に撮影されます。


 自動的に3枚の画像を連続撮影します。

セルフタイマーを使つての撮影中は、  
セルフタイマーLEDランプが点滅します。




## ストロボ

〈ストロボ〉ボタンを押すと以下のような選択ができます。

 **禁止** 発光しません。

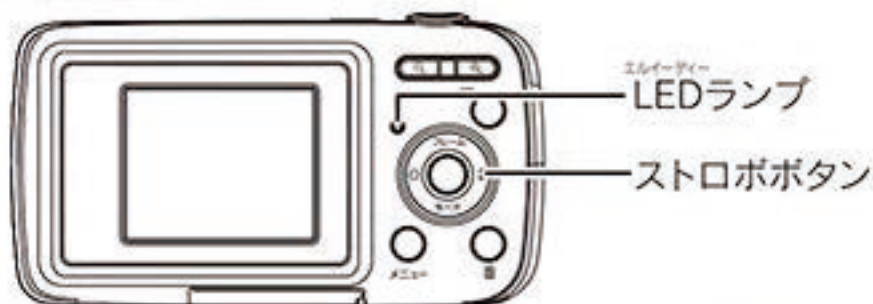
 **強制** 常に発光します。

 **自動** 暗いところで自動的に発光します。

ストロボの有効範囲は  
2メートル以内です。

※ストロボは充電されるまで少し時間がかかります。

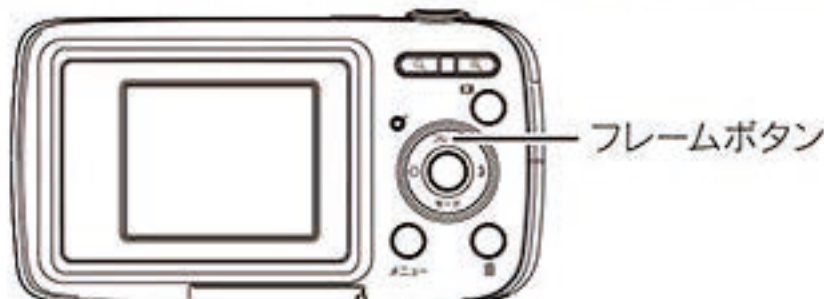
充電中はLEDランプが点滅します。液晶モニタ上部にストロボマークが  
出たら撮影可能です。



ストロボは目に向け近づけて発光するととても危険です。視力  
障害の原因になりますので、光を直接見たり、人や動物の目に直  
接向けることは、絶対にしないでください。

## フォトフレーム

〈フレーム〉ボタンを押すと、撮影のときにフレームをつけることができます  
(静止画モードのみ)。フレームは6種類あり、〈フレーム〉ボタンを押すごとに  
切り替わります。フォトフレームをつかった撮影をやめるときは、液晶モニタ  
からフォトフレームが消えるまで〈フレーム〉ボタンを押してください。





# オリジナルフォトフレーム6種内蔵 しゅ ない そう

全6種類



アイカツ!カード風  
フレーム(1種)



ブランド風フレーム(3種)



★1  
ゲーム画面撮影  
フレーム(1種)



★2  
お気に入りコーデ  
撮影フレーム(1種)

## ★1 ゲーム画面撮影フレーム

ゲームで遊んだコーディネート  
を撮影できます。



コーディネート  
完了画面の右側を  
カメラを縦にして  
撮影してください。

※店内の照明等の環境によっては、綺麗に  
撮影できない場合もあります。

## ★2 お気に入りコーデ撮影フレーム

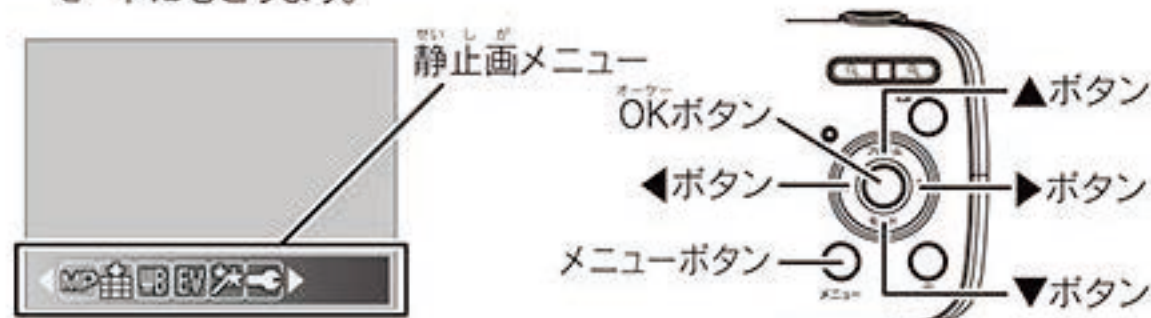
お気に入りのカードの組み  
合わせ(4枚)も撮影できます。



※すきまができないよう、4枚のカードを  
くっつけて撮影してください。

## 静止画のメニュー

- ① 静止画モードで〈メニュー〉ボタンを押して、液晶モニタの下側に静止画メニューを表示させます。
  - ② 〈左〉〈右〉ボタンで静止画のメニューの中から設定したい項目を選びます。選択されている項目は青枠で囲まれ、その項目が表示されます。
  - ③ 項目の中から〈上〉〈下〉ボタンで変えたい項目を選びます。
  - ④ 〈OK〉ボタンを押すと設定が決定し、静止画モードに戻ります。
- 設定するのをやめるときは、〈メニュー〉ボタンを押してください。静止画モードにもどります。



メニューは以下のとおりです。

メニュー	機能
<b>MP</b> 解像度	画像の解像度を以下の2つから選択できます。 1.3M (1280x960)  VGA (640x480)
<b>画質</b>	次の2つから選択できます。  ファイン  ノーマル 画質が低いノーマルだと、ファインよりも多く撮影できます。
<b>WB</b> ホワイトバランス	次の5つから選択できます。撮影する環境に合わせて設定してください。 自動  晴れ  くもり  白熱灯  蛍光灯
<b>EV</b> 明るさ調整 (露出補正)	間接的な室内照明、暗い背景、強い逆光など、通常とは異なった照明条件を補正するために手動で露出値を設定できます。 〈▲〉〈▼〉で調整してください。 露出値の範囲は-2.0~+2.0です。
<b>エフェクト</b>	画像の色調を以下の7つから選択できます。 標準  白黒  セピア  ネガアート  赤  緑  青
<b>本体設定</b>	P.30「本体設定」を参照してください。

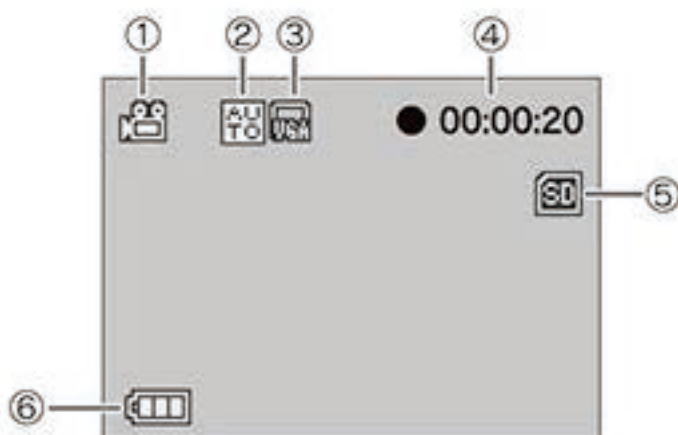












## 動画モード

### 動画モードのアイコン

カメラの〈電源〉ボタンを押し、〈モード〉ボタンを押して動画モードにします。  
(液晶モニタの左上に動画モードのアイコンが表示されます)

動画モードで液晶モニタに表示されるアイコンです。

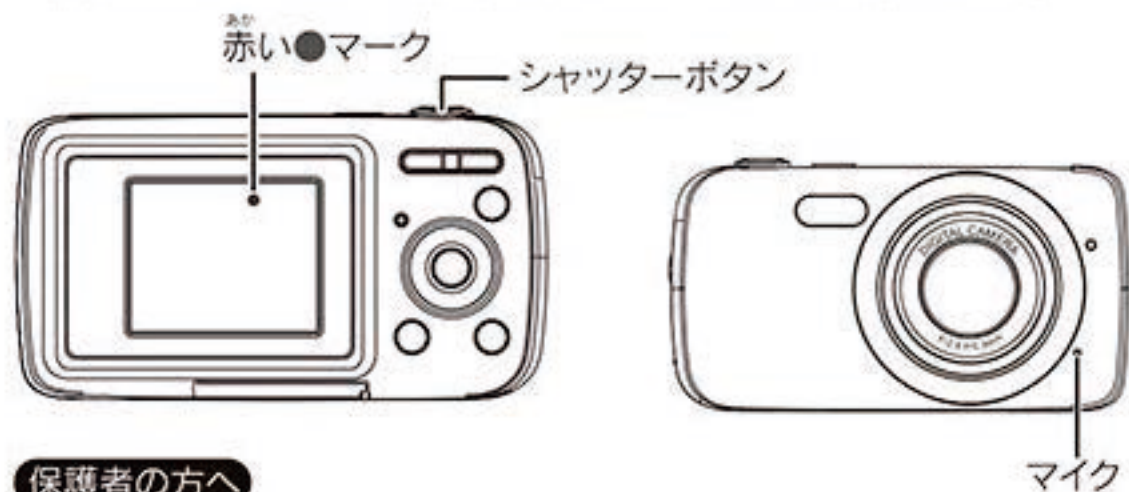


- ① モード表示  動画モード
- ② ホワイトバランス  自動  晴れ  くもり  白熱灯  蛍光灯
- ③ 動画サイズ  (640×480ピクセル)  (320×240ピクセル)
- ④ 撮影可能時間 / 撮影時間  
撮影可能な時間のめやす(撮影していないとき)  
撮影中の経過時間(撮影中は赤い●マークが点滅します)
- ⑤ メモリーカード  撮影可能  カードロック(撮影できません)  
※SDメモリーカードが入っていないとき、または、保存先で内蔵メモリを選んでいないとき(P.31「保存先」参照)は表示されません。
- ⑥ 電池残量 P.10「電源のオン/オフ」を参照してください。

※カードロックについては、P.11「ロック機能」を参照してください。

## 動画の撮影

- ①カメラの〈電源〉ボタンを押し、〈モード〉ボタンを押して動画モードにします。
  - ②液晶モニタで撮影するもの(被写体)を確かめてから、〈シャッター〉ボタンを押して動画撮影をはじめてください。
  - ③撮影を終了するには、再度〈シャッター〉ボタンを押してください。
- 撮影中は液晶モニタの右上に撮影時間が表示され、赤い●マークが点滅します。
  - 撮影しているときに〈マイク〉を指でおさえないように気をつけてください。
  - 音声は録音されますが、このカメラでは再生できません。パソコンで動画再生するときに音声再生されます。
  - 撮影可能時間はメモリの残量によります。
  - メモリに空きがなくなりデータでいっぱいになると、撮影は自動的に終わります。
  - 本製品の仕様上、1つの撮影ファイルの合計サイズは4GBまでとなります。4GBを超えた分からは別途新しいファイルにて記録されます。



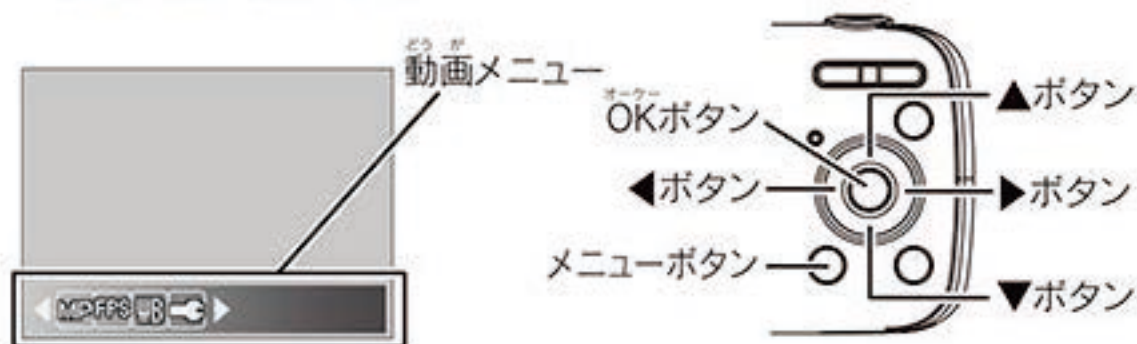
### 保護者の方へ

このカメラで撮影した動画の形式はAVI形式で、コーデック方式はMotionJPEGです。SDメモリーカードからデータをパソコンに移してご覧になる際は、対応している再生ソフトをお使いください。  
(パソコンとの接続については、P32をご確認ください)



## 動画のメニュー

- ① 動画モードで〈メニュー〉ボタンを押すと、液晶モニタの下側に動画メニューが表示されます。
  - ② 〈◀〉〈▶〉ボタンで動画メニューの中から設定したい項目を選びます。選択されている項目は青枠で囲まれ、その項目が表示されます。
  - ③ 項目の中から〈▲〉〈▼〉ボタンで変えたい項目を選びます。
  - ④ 〈OK〉ボタンを押すと設定が決定し、動画モードに戻ります。
- 設定をやめるときは、〈メニュー〉ボタンを押してください。  
動画モードにもどります。



メニューは以下のとおりです。

メニュー	機能
<b>MP</b> 動画サイズ	画像の解像度を以下の2つから選択できます。 (640×480ピクセル)     (320×240ピクセル)
<b>FPS</b> フレームレート	フレームレートを以下の2つから選択できます。 (30コマ/秒)     (15コマ/秒) 1秒間あたりに撮影するフレーム数を決めます。フレーム数が多いと動きがなめらかになりますが、メモリをたくさん使います。
<b>WB</b> ホワイトバランス	次の5つから選択できます。撮影する環境に合わせて設定してください。 自動     晴れ     くもり     白熱灯     蛍光灯
本体設定	P.30「本体設定」を参照してください。

# 静止画と動画共通の機能

## ズーム撮影

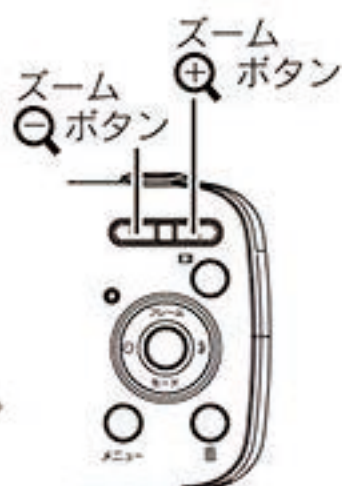
最大4倍までデジタルズーム撮影ができます。

### ○ズームイン(望遠)

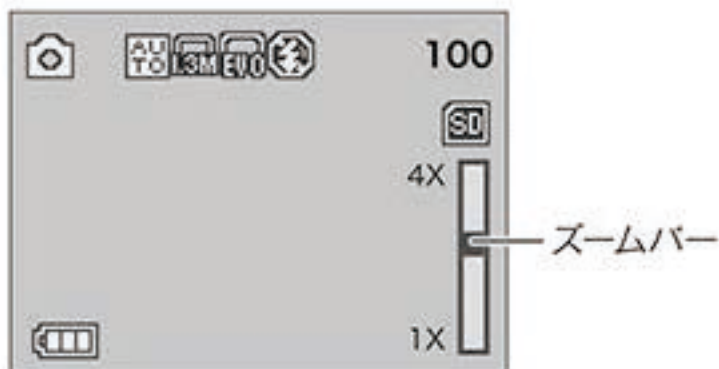
〈ズーム $\oplus$ 〉ボタンを押すとズームインします。  
遠くのを大きく撮影できます。

### ○ズームアウト(広角)

〈ズーム $\ominus$ 〉ボタンを押すとズームアウトします。  
ズームインした大きい表示が元にもどります。



ズームしているときは、液晶モニタ右側にズームバーが表示されます。



※デジタルズーム撮影をすると画像が粗くなります。

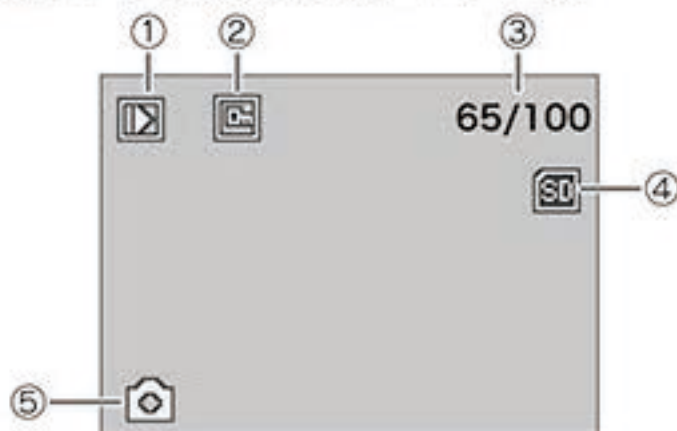









## 再生モード

### 再生モードのアイコン

カメラの電源をオンにし〈再生モード〉ボタンを押して再生モードにします。

再生モードで液晶モニタに表示されるアイコンです。



- ① モード表示  再生モード
- ② ファイル保護  ファイルが保護されているときに表示されます。
- ③ ファイル番号  ファイル番号 / 全ファイル数 (表示は最大99999/99999です。)
- ④ メモリーカード  撮影可能  カードロック (保存や消去ができません)  
※SDメモリーカードが入っていないとき、または、保存先で内蔵メモリを選んでいないとき (P.31「保存先」参照) は表示されません。
- ⑤ ファイルの種類  静止画  動画

再生モードでは、SDメモリーカードが入っているときは、メモリーカードのファイルを液晶モニタに表示します。SDメモリーカードが入っていないときは、内蔵メモリのファイルを表示します。

〈◀〉〈▶〉ボタンで表示ファイルを変えることができます。  
動画ファイルでは、〈OK〉ボタンを押すと再生ができます。

## 静止画・動画の再生

- ①カメラの電源をオンにし、〈再生モード〉ボタンを押して再生モードにします。
- ②液晶モニタには保存されたファイルが表示されます。  
〈◀〉〈▶〉ボタンで、閲覧したいデータを選択できます。

## 静止画データの再生

静止画データを液晶モニタに表示しているときに〈ズーム ⊕〉ボタンを押すと、最大4倍までのズーム表示ができます。

ズーム表示をしているときは〈ズーム ⊕〉ボタンと〈ズーム ⊖〉ボタンで倍率を変えることができます。

ズーム ⊕ ボタン    ズームイン(大きく表示)

ズーム ⊖ ボタン    ズームアウト(小さく表示)

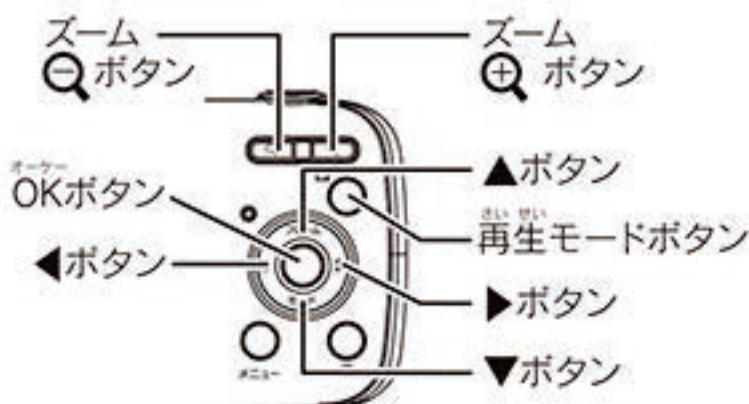
▲▼◀▶ ボタン    表示位置を動かします(ズーム表示しているときのみ)

OK ボタン    ズーム表示を取り消します。

再生モードボタン    撮影モードに戻ります。

※ズーム表示をしているときはファイルの移動・閲覧ができません。

〈OK〉ボタンを押してズーム表示を取り消してから行ってください。





## 動画データの再生

動画データを液晶モニタに表示しているときに〈OK〉ボタンを押すと、再生が始まります。

再生しているときに〈▲〉〈◀〉〈▶〉ボタンや〈OK〉ボタンを押すと操作ができます。

OKボタン 再生・一時停止

▲ボタン 停止(最初に戻ります)

再生中は以下の操作ができます。

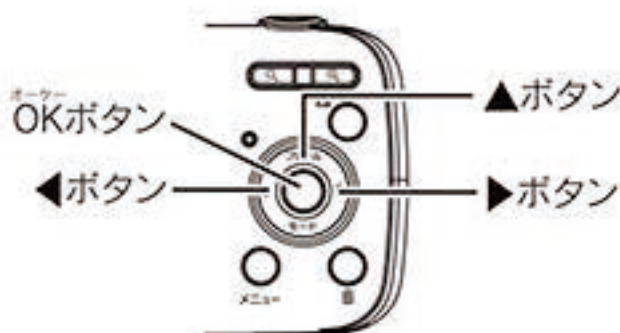
▶ボタン 早送り再生

◀ボタン 早戻し再生

OKボタン 再生

▲ボタン 停止(最初に戻ります)

○動画再生時に、このカメラで音声は再生されません。パソコンで動画再生するときに音声は再生されます。



## サムネイル表示

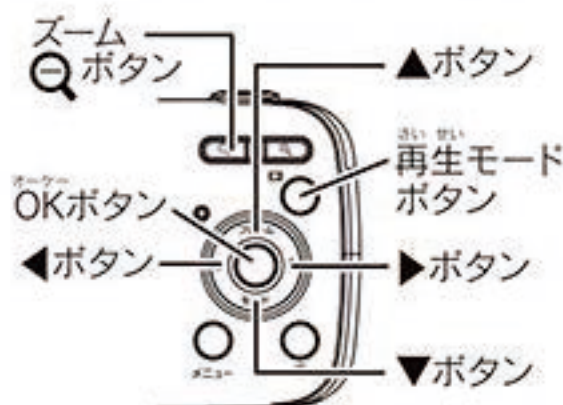
再生モードで〈ズーム Q〉ボタンを押すと、サムネイル表示に切り替わります。1つの画面に小さく沢山(最大9つ)表示されるので、撮影したデータを探すのに便利です。

選んだデータは白い枠で囲まれています。〈▲〉〈▼〉〈◀〉〈▶〉ボタンでデータを移動します。〈OK〉ボタンを押すと、サムネイル表示が終わり、選んだデータだけが表示されます。

サムネイル表示中に〈再生モード〉ボタンをおすと撮影モードに戻ります。

※静止画ファイルにはJPG、動画ファイルにはAVIの表示がついています。

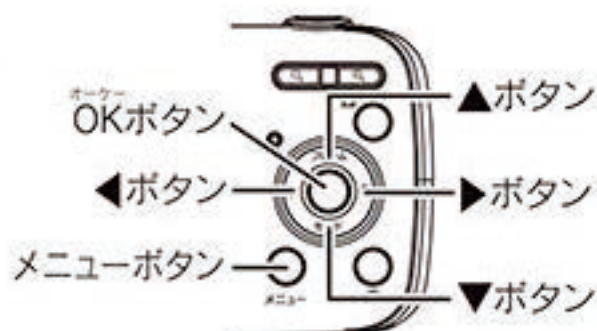
▲▼◀▶ ボタン データの選択  
OKボタン 選んだデータを表示











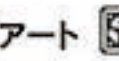


## 再生モードのメニュー


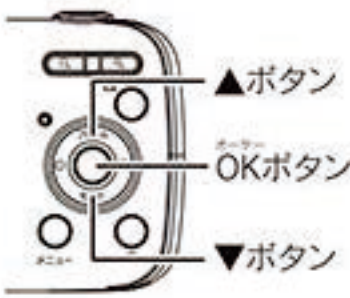
- 再生モードで〈メニュー〉ボタンを押して、液晶モニタの下側に再生メニューを表示させます。
  - 〈◀〉〈▶〉ボタンで再生のメニューの中から設定したい項目を選びます。選択されている項目は青枠で囲まれ、その項目が表示されます。
  - 項目の中から〈▲〉〈▼〉ボタンで変えたい項目を選びます。
  - 〈OK〉ボタンを押すと設定が決定し、反映されます。
- 設定するのをやめるときは、〈メニュー〉ボタンを押してください。再生モードにもどります。





メニューは以下のとおりです。

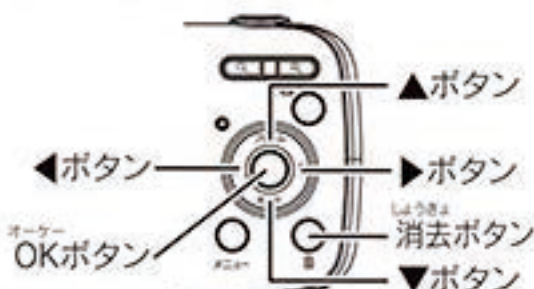
メニュー	機能
画像保護 	<p>ファイルを削除できないように保護したり、保護を解除することができます。3つのオプションがあります。</p> <p>①写真を保護／保護解除 ②すべて保護 ③すべて保護解除</p> <p> アイコンは、再生モードでそれらを表示したときに保護されている各ファイルに表示されます。</p>
スライドショー (静止画のみ) 	<p>静止画のスライドショーを再生することができます。</p> <p>「オン」を選択して〈OK〉ボタンを押すと、スライドショーが3秒間隔で再生されます。</p> <p> OKボタン メニューボタン</p> <p>メニューボタン スライドショーを終えて再生モードにもどります。</p>
エフェクト (静止画のみ) 	<p>静止画のデータに色味の効果をつけ加えて、保存します。色効果を選んだら、〈OK〉ボタンで決定してください。</p> <p>※元のデータとは別に保存されますので、エフェクトをかける前のデータもそのまま残ります。</p> <p>《エフェクトは以下の6つの効果から選びます》</p> <p> 白黒  セピア  ネガアート  赤  緑  青</p>

メニュー	機能
<p>回転 (静止画のみ)</p> 	<p>静止画のデータを時計回りに90度回転できます。 「回転」を選び、〈OK〉ボタンを押すごとに、データが90度ずつ回転します。 回転を決定するときは〈▲〉〈▼〉ボタンで「保存」を選び、〈OK〉ボタンを押してください。データを新しく保存します。</p>  <p>※元のデータとは別に保存されますので、回転する前のデータもそのまま残ります。 回転を取り消すときは〈▲〉〈▼〉ボタンで「戻る」を選んで〈OK〉ボタンを押してください。</p>

## 画像の消去

再生モードで〈消去〉ボタンを押すと、表示中のデータの消去が行えます。


- ①再生モードで、〈◀〉〈▶〉ボタンを押して消去したいファイルを表示します。
  - ②〈消去〉ボタンを押します。消去メニューが表示されます。
  - ③〈▲〉〈▼〉ボタンを押して1枚消去かすべて消去を選び、〈OK〉ボタンを押します。
  - ④〈▲〉〈▼〉ボタンを押して「はい」を選び、〈OK〉ボタンを押してください。
- ファイルの消去をやめるには、④のときに〈▲〉〈▼〉ボタンを押して「いいえ」を選び〈OK〉ボタンを押してください。




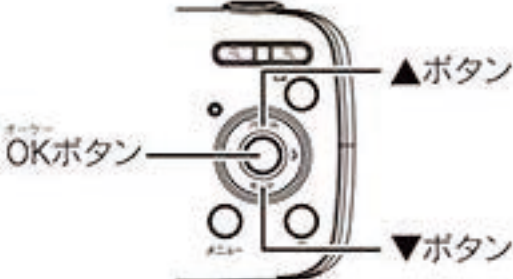















消去したデータは元に戻すことができません。  
消去するときはデータをしっかり確かめてください。



# 本体設定

- ① 静止画モード、動画モードで〈メニュー〉ボタンを押してメニューを表示し、〈◀〉〈▶〉ボタンでメニュー画面のいちばん右にある  アイコンを選択すると、本体設定が表示されます。
- ② 本体設定が表示されたら、〈▲〉〈▼〉ボタンで設定項目を選び、〈OK〉ボタンを押してください。

メニュー	機能
<p><b>操作音</b></p> 	<p>撮影のときや、カメラ操作しているときのボタンの音を設定します。以下の3種類について、オンまたはオフの設定ができます。</p> <p>① シャッター (シャッターの音)            ② 起動音 (電源を入れたときの音)            ③ 操作音 (ボタンをおしたときの音)</p> <p> オフ   オン</p> <p><b>音の設定方法</b></p> <p>① 設定項目を〈▲〉〈▼〉ボタンで選びます。            ② 〈OK〉ボタンを押します。            ③ オン・オフを〈▲〉〈▼〉ボタンで選びます。            ④ 〈OK〉ボタンで決定します。</p> <p>撮影モードの画面に戻ります。            ※他の項目も設定方法は同じです。</p> 

メニュー	機能
電源周波数 	部屋の中で照明をつけてカメラを使うときに、より綺麗に撮影できるように設定します。使う場所にあわせて設定します。  60Hz:西日本地域  50Hz:東日本地域
オートオフ 	電源の消し忘れや電池が減るのを防ぐ機能です。この機能を設定すると、設定した時間、何も操作しないしていると、自動的に電源がオフになります。  オフ  1分  3分 ※「オフ」を選ぶと、この機能は働きません。
フォーマット 	内蔵メモリやSDメモリーカードをフォーマット(初期化)します。このカメラで使うSDメモリーカードは、必ずこのカメラでフォーマットしてください。フォーマットすると、内蔵メモリやSDメモリーカードに記載されているデータはすべて消されるので注意してください。 ※本体設定の保存先で選択されている保存先がフォーマットされます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">  フォーマットで消されたデータは元に戻すことができません。フォーマットをするときは内容を十分に確かめてください。           </div>
全てリセット 	カメラの各種設定を最初の状態に戻します。
保存先 	データを保存する場所を選びます。  SDメモリーカード  内蔵メモリ 保存されているデータを編集するときも、そのデータが保存されている場所を選びます。 ※SDメモリーカードが入っていないときは、内蔵メモリに切り替わります。 ※SDメモリーカードを入れると、SDメモリーカードに切り替わります。 ※SDメモリーカードが入っているとき、内蔵メモリの設定にすると、内蔵メモリに保存されているデータを操作できませんが、電源オフにすると設定はSDメモリーカードに戻ります。 ※カメラ上で、内蔵メモリに保存された画像をSDメモリーカードに移すことはできません。パソコンにコピーすることは可能です。 (P.32「パソコンとの接続」参照)



# パソコンとの接続

カメラの内蔵メモリまたはSDメモリーカードからパソコンにファイルをコピーするには、2つの方法があります。

① 付属のUSBケーブルを使ってカメラとパソコンを接続する。

- ・SDメモリーカードが入っているときはSDメモリーカードのファイルがコピーされます。
- ・SDメモリーカードが入っていないときは内蔵メモリのファイルがコピーされます。

② SDメモリーカードをパソコンのカードリーダーに挿入する。

① 付属のUSBケーブルを使ってカメラとパソコンを接続する場合

	Windowsの場合	Macの場合
①	カメラの電源をオフにしてください。	
②	カメラとパソコンをUSBケーブルで接続してください。 端子の向きや方向を間違えないように注意してください。	
③	パソコンの画面上に任意のリムーバブルディスクが表示されます。	パソコンの画面上に「NO_NAME」や「名称未設定」(または「Untitled」)のアイコンが表示されます。
④	「フォルダを開いてファイルを表示する」をダブルクリックして、フォルダを開きます。	表示されたアイコンをダブルクリックします。
⑤	DCIMフォルダが表示されます。この中にデータが入っています。	
⑥	このフォルダをパソコンの任意の場所にコピーしてください。	
⑦	コピーが終了したら、USBケーブルをパソコンとカメラから抜いてください。 USBケーブルをパソコンから抜くときは、お使いのパソコンの取扱説明書にしたがって抜いてください。	
<p>※WindowsXPの場合は「マイコンピュータ」の中に、WindowsVista/7の場合は「コンピュータ」の中に「リムーバブルディスク」が表示されます。</p> <p>※リムーバブルディスクの名称はお使いの環境により異なる場合があります。</p> <p>※USBハブや拡張USBボードで接続した場合、本製品を認識しなかったり、エラーメッセージが表示される場合があります。</p>		

## 2 SDメモリーカードをパソコンのカードリーダーに挿入する場合

カメラの電源をオフにしてからSDメモリーカードを取り出し、パソコンのカードリーダーに挿入します。

	Windowsの場合	Macの場合
1	カメラの電源をオフにしてください。	
2	SDメモリーカードを取り出し、パソコンのカードリーダーに挿入します。	
3		
4	1の場合と操作方法は同じです。	
5		
6		
7	コピーが終了したら、SDメモリーカードをパソコンから抜いてください。 SDメモリーカードを抜くときは、お使いのパソコンの取扱説明書にしたがって抜いてください。	
※WindowsXPの場合は「マイコンピュータ」の中に、WindowsVista/7の場合は「コンピュータ」の中に「リムーバブルディスク」が表示されます。 ※リムーバブルディスクの名称はお使いの環境により異なる場合があります。 ※USBハブや拡張USBボードで接続した場合、本製品を認識しなかったり、エラーメッセージが表示される場合があります。		

## パソコンに保存した画像を見る

- 1 コピーしたDCIMフォルダをダブルクリックし、フォルダを開きます。
  - 2 さらに100JLCAMのフォルダをダブルクリックして開きます。
  - 3 見たい画像をダブルクリックすると画像が表示されます。
- ※100JLCAMフォルダ内のファイルが999個を超えた場合は自動的に新しいフォルダが作成されます。

## 動画を再生する

動画はWindowsの場合はWindows Media Playerで、Macの場合はQuick Time Playerで再生することができます。  
上記③で見たい動画をダブルクリックすると再生が始まります。



## こま 困ったときは

壊れたかな?と思ったときは、まずこちらをみて解決方法を試してください。それでも解決しないときはバンダイお客様相談センターに連絡してください。

### カメラのトラブル

困ったこと	解決方法
電源がはまらない	<ul style="list-style-type: none"> <li>○電池がきれている可能性があります。新しい電池と交換してください。</li> <li>○電池の＋の方向が正しくセットされていない可能性があります。間違っていたときは正しく入れ直してください。</li> </ul>
電源が突然オフになる	<ul style="list-style-type: none"> <li>○電池がきれている可能性があります。新しい電池と交換してください。</li> <li>○「オートオフ」機能(P.31)が働いた可能性があります。〈電源〉ボタンを押し、電源をオンにしてください。</li> <li>○電池残量が少ない時にストロボボタンを押すと電源が切れる場合があります。新しい電池に交換してください。</li> </ul>
液晶モニタの表示がきえた	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「オートオフ」機能(P.31)が働いた可能性があります。〈電源〉ボタンを押し、電源をオンにしてください。</li> <li>○電池がきれて電源がオフになった可能性があります。新しい電池と替えて〈電源〉ボタンを押し、電源をオンにしてください。</li> </ul>
撮影できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>○SDメモリーカードの空き容量がなくなると、撮影ができなくなります。新しいSDメモリーカードと取り替えるか、ファイルを消去して空き容量を増やしてください。</li> <li>○SDメモリーカードがロックされていると撮影することができません。カードの書き込み禁止スイッチのロックをはずしてください。</li> <li>○SDメモリーカードが入っていないか、正しくセットされていない可能性があります。確かめてください。</li> <li>○再生モードになっている可能性があります。その場合は撮影モード(静止画・動画)にしてください。</li> </ul>
動画を再生したとき、音が聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> <li>○このカメラでは動画音声は再生されません。パソコンで動画を再生するときに音声は再生されます。</li> </ul>
ストロボが発光しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ストロボの設定が発光禁止になっている可能性があります。自動が強制的設定にしてください(P.17)</li> </ul>



困ったこと	解決方法
操作ができない/ ボタンが反応しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>○電池を入れなおして、もう一度撮影をしてください。</li> <li>○SDメモリーカードにトラブルがある可能性があります。SDメモリーカードのフォーマットを試してください(P.31)。それでも改善されなかったら、他のSDメモリーカードを使ってください。</li> </ul>
静止画がぼける	<ul style="list-style-type: none"> <li>○撮影をするときにカメラをもつ手が震えると、ぶれることがあります。カメラをしっかりともち、〈シャッター〉ボタンを押すときにカメラが動かないようにしてください。〈シャッター〉ボタンを押した後すぐにカメラを動かしても、ぶれてしまいます。注意してください。</li> <li>○カメラが被写体に近すぎる可能性があります。1.5メートル以上離れて撮影してください。</li> </ul>
SDメモリーカードを 入れたのにSDメモリー カードのアイコンが 液晶モニタにでない	<ul style="list-style-type: none"> <li>○SDメモリーカードにトラブルがある可能性があります。SDメモリーカードのフォーマットを試してください(P.31)。それでも改善されなかったら、ほかのSDメモリーカードを使ってください。</li> <li>○SDメモリーカードの容量を確認してください。 このカメラは32GBまでのSDメモリーカードが使えます。 それより大きい容量のSDメモリーカードは使えません。</li> </ul>
画像が粗い	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ズーム撮影(P.23)をすると、画像が粗くなります。</li> </ul>
いつもと違う音がする または、違う動きをする	<ul style="list-style-type: none"> <li>○電池がきれにかけているときに、カメラの動作がおかしくなることがあります。新しい電池と交換してください。</li> </ul>
SDメモリーカードを挿入後 カメラの電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>○SDメモリーカードが最後までしっかり挿入されているか確認してください。</li> </ul>
シャッターボタンを 押しても、反応しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>○撮影した後、データが保存されるまでに少し時間がかかります。少し待ってから次の撮影をしてください。</li> <li>○SDメモリーカードのメモリがいっぱいの時は、画像を消去して空きをつくってください。</li> </ul>
電池残量の アイコンが点滅する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○電池を全て新しいものに交換してください。</li> </ul>
画面に上下に動く 波が入る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○周波数の設定が間違っている可能性があります。 50Hz、60Hzを正しく設定してください(P.31)。</li> </ul>
パソコンに画像を コピーできない	<ul style="list-style-type: none"> <li>○カメラ側とパソコン側のUSB端子をしっかり奥まで差し込んでください。つないだ後、パソコンでカメラを認識するまでに少し時間がかかる場合があります。つないだ後は少し待ってください。</li> </ul>



# 製品の仕様

<p>主な機能特長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●静止画撮影(セルフタイマー撮影・フォトフレーム付き撮影)/再生</li> <li>●動画撮影/再生</li> <li>●デジタル4倍ズーム撮影</li> <li>●TFTカラー液晶モニタ</li> <li>●パソコン接続</li> <li>●SDメモリーカード/SDHCメモリーカード対応</li> </ul>
<p>撮像素子 内蔵メモリ 対応外部記憶媒体 記録モード 保存形式 静止画サイズ 動画サイズ モニタ レンズ ISO感度 撮影距離 ズーム シャッター フラッシュ撮影 ホワイトバランス 露出補正 オートオフ 撮影モード エフェクト キャラクターフレーム 端子/スロット マイク 電源 電源寿命 使用環境 外形寸法 重量</p>	<p>1/5.5インチ 130万画素CMOSイメージセンサー 32MB SD/SDHCメモリーカード(別売り・32GBまで) 静止画 / 動画 静止画:JPEG/動画:AVI 1.3M(1280 x 960ピクセル) VGA(640 x 480ピクセル) VGA (640 x 480ピクセル) 最大30コマ/秒 QVGA (320 x 240ピクセル) 最大30コマ/秒 1.8インチTFTカラー液晶モニタ 固定焦点レンズ F.2.8 F=5.3mm/35mmカメラ換算 68mm 自動 150cm~∞ デジタルズーム 最大4倍 電子式 シャッタースピード 1/2000~1/2 秒 強制発光/自動/発光禁止 有効範囲:最大2m 自動/晴れ/くもり/白熱灯/蛍光灯 +2.0 ~ -2.0 オフ/1分/3分 オフ/セルフタイマー(10秒)/連続撮影 標準/白黒/セピア/ネガアート/赤/緑/青 6種類 ミニUSB2.0 / SDメモリーカードスロット 内蔵 単4形アルカリ乾電池 3本(別売り) 静止画 約270枚(CIPA準拠)/動画 約180分 温度0℃~40℃(結露なきこと) (H)約53.6mm × (D)約24.9mm × (W)約99.7mm 約70g(電池および付属品除く)</p>



対応OS

Windows XP Windows Vista Windows 7  
Mac OS OS X 10.4.9~OS10.8

すべてのデータは当社測定条件によります。都合により記載内容を予告なしに変更することがあります。  
○MicrosoftおよびWindowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。  
○Mac OS は、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。  
○その他、記載の会社名および商品・サービス名は各社の登録商標または商標です。

### 《液晶画面について》

以下は液晶画面の特性によるもので、故障ではありません。

●一部に常時点灯、または常時点灯しない画素が存在する場合があります。●明るさにむらが生じる場合があります。●太陽光、ライトなどが当たると画面が見えにくくなります。

## 撮影可能枚数／時間の目安／電池寿命

撮影の状況・被写体によって記録されるファイルサイズが一定でないため、記録可能枚数／時間に差があります。下記は目安としてご参考ください。

複数の機能で撮影した場合、メモリの残量に依存します。

■静止画(枚) ※参考値ですので多少前後する可能性があります。

サイズ	内蔵メモリ	SD 2GB	SDHC 8GB	SDHC 16GB	SDHC 32GB	
1.3M	ファイン	110	8740	34470	69110	138580
	ノーマル	120	9370	36930	74050	148480
VGA	ファイン	220	17890	70510	141380	283470
	ノーマル	260	20720	81640	163700	328220

■動画(秒) ※参考値ですので多少前後する可能性があります。

サイズ	内蔵メモリ	SD 2GB	SDHC 8GB	SDHC 16GB	SDHC 32GB	
VGA	30コマ/秒	0:00:20	0:27:10	1:47:10	3:34:50	7:10:50
	15コマ/秒	0:00:40	0:56:50	3:44:20	7:29:50	15:02:10
QVGA	30コマ/秒	0:00:40	0:55:10	3:37:30	7:16:20	14:34:50
	15コマ/秒	0:01:20	1:50:20	7:15:10	14:32:40	29:09:40

### ■電池寿命

静止画撮影	約 270 枚 (CIPA 準拠)
動画撮影	約 180 分

○本製品の仕様上、1つの撮影ファイルの合計サイズは4GBまでとなります。4GBを超えた分からは別途新しいファイルにて記録されます。

### 《使用上の注意》

- 本品はアルカリ電池専用です。
- 本品は精密な電子部品で構成されています。落としたり、汚したり、分解したりしないでください。また、高温・低温になる所での使用、保管はさけてください。
- プリスター(透明カバー、透明トレイ)、液晶保護シート、袋は梱包材ですので開封後はすぐに捨ててください。
- 可動部分・取付部分を無理な方向に強く引っ張ったり、曲げたりしないでください。
- 本品を樹脂製のソファやシート、タイルの上に置かないでください。長時間接触していると色が移る場合があります。
- パソコンに接続した画面を見る際には視力低下の原因にもなりますので、明るい部屋で画面から十分はなれて見てください。



## ⚠ 警告(けいこく)

保護者の方へ 必ずお読みください。

- 小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 電気コードは、首を絞める危険があります。乱暴に遊ばせないでください。

## ⚠ 注意(ちゅうい)

- 本品及びご使用になるパソコン等の取扱説明書を必ずお読みください。
  - ストロボは目に向けて近づけて発光するととても危険です。視力障害の原因になりますので、光を直接見たり、人や動物の目に直接向けることは、絶対にしないでください。
  - 単4形アルカリ乾電池(別売り)、電池ぶたのねじなどの誤飲事故(特に3才未満のお子様)に注意してください。
  - 直射日光や反射光のあたる場所には置かないでください。レンズを使っているため、発火の危険があります。
  - 可動部分のスキマには指などを入れないでください。はさまれてケガをする恐れがあります。
  - LEDの光の点滅を見続けしないでください。気分が悪くなったりする恐れがあります。
  - 屋外で遊ぶときは、安全な場所を選んでください。
- 《電池を誤使用すると発熱・破裂・液漏れの恐れがあります。下記に注意してください》
- 万一、電池から漏れた液が目に入ったときはすぐに大量の水で洗い、医師に相談してください。ひふや服についたときは水で洗ってください。
  - 電池の交換は保護者の方が行ってください。
  - 充電式(ニカドなど)電池は、絶対に使用しないでください。
  - 古い電池と新しい電池、いろいろな種類の電池を混ぜて使わないでください。
  - 十(プラスマイナス)を正しくセットしてください。
  - 遊んだ後は必ずスイッチを切り電池をはずしてください。電池を入れたままにしておくで液漏れの恐れがあり危険です。
  - ショートさせたり充電、分解、加熱、火の中に入れてたりしないでください。
  - 廃棄するときは、自治体の廃棄処理の指示に従ってください。



くちにいれない



まきつけない

製品に関するお問い合わせ

《電話受付先》 バンダイお客様相談センター

〒277-8511 柏市豊四季241-22 ナビダイヤル

0570-041-101

●受付時間 10時～17時（祝日、夏季・冬季休業日を除く）

PHS、IP電話等をご利用の方は04-7146-0371におかけください。

Webでのお問い合わせ「Web相談センター」 URL <http://www.bandai.co.jp/support/>

《商品・修理品送付先》 バンダイ 栃木修理・配送センター

〒321-0298 栃木県下都賀郡壬生町おもちゃのまち5-4-67

●営業時間 10時～17時（土、日、祝日、夏季・冬季休業日を除く） 電話番号はお客様相談センター共通